

第112回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成28年10～12月期実績・平成29年1～3月期見通し)

1. 調査時点 平成28年12月1日～12月7日
2. 調査対象企業数 173社中回答 173社 回答率 100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	従業員 300人以下	38	38	100.0
建設業	〃	43	43	100.0
卸売業	従業員 100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員 50人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合計		173	173	100.0

3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課（TEL. 0146-22-4100、内線 611）

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31番地2

全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 28 年 10～12 月期）の業況判断 D. I. は△19.6 と、前期（平成 28 年 7～9 月期）比 2.4 ポイント良化となった。前年（△5.7）比では 13.9 ポイント下降、前期（平成 28 年 7～9 月期）調査時点での今期（平成 28 年 10～12 月期）見通し（△14.4）を 5.2 ポイント下回る水準となった。業種別には、製造△23.8（前期△29.0）、建設 0.0（同△0.0）、卸売△28.6（同△42.8）、小売△33.4（同△37.0）、サービス△16.2（同△12.9）となった。

売上額判断 D. I. は△4.6 と前期比 1.7 ポイント上昇、収益判断 D. I. は△9.8 と前期比 0.6 ポイント上昇した。

来期（平成 29 年 1～3 月期）の予想業況判断 D. I. は△32.9 と、今期実績比 13.3 ポイントの下降見通しとなった。業種別にみると、製造△28.9、建設△20.9、卸売△57.2、小売△40.7、サービス△35.5 と来期を見通している。

【業種別天気図】

時 期 業 種	地 区 内				北 海 道	全 国
	28 年 4 月～6 月	28 年 7 月～9 月	28 年 10 月～12 月	29 年 1 月～3 月 見通し	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						

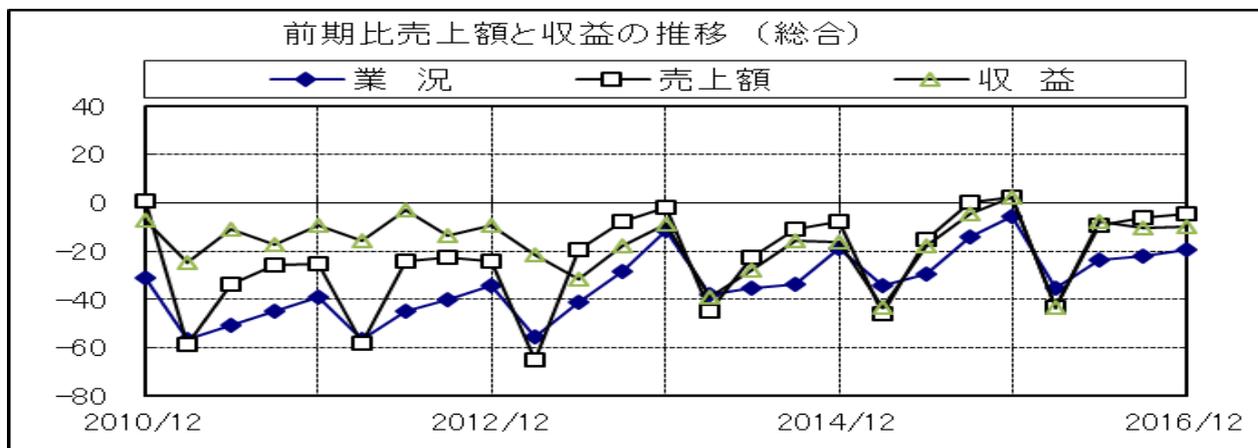
好調 ← → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-23.7	-22.0	-19.6	-32.9
売上額	-9.2	-6.3	-4.6	-35.3
収 益	-7.5	-10.4	-9.8	-34.1

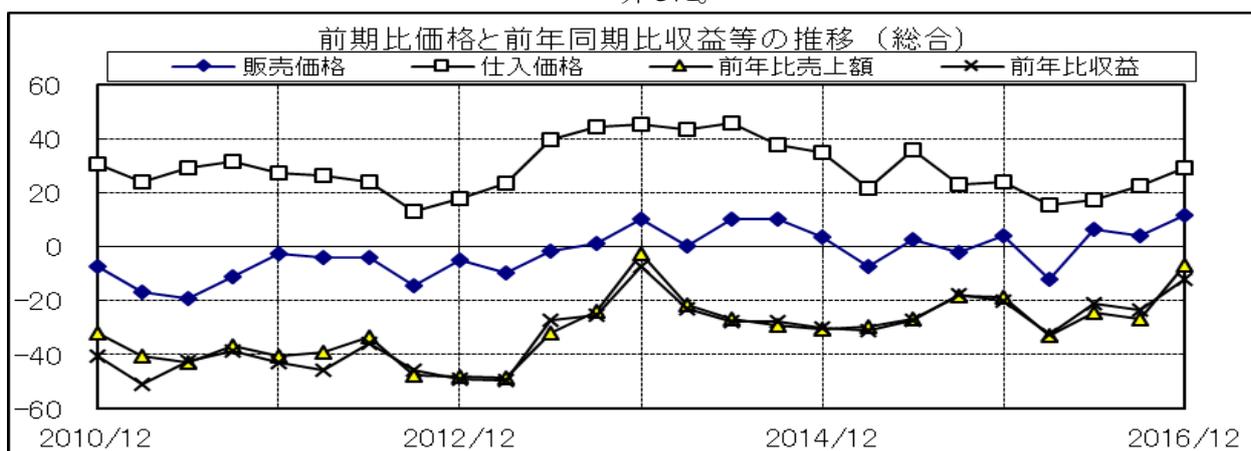
全業種総合の今期の業況判断D. I. は $\Delta 19.6$ と、前期比2.4ポイント上昇した。地区別のD. I. は、高い順に、えりも、広尾、静内、様似、浦河、三石となった。業況判断D. I. は前年 ($\Delta 5.7$) 比では13.9ポイント下降した。売上額判断D. I. は $\Delta 4.6$ と前期比1.7ポイント上昇、収益判断D. I. は $\Delta 9.8$ と同0.6ポイント上昇した。



□ 価格面、前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	6.4	4.1	11.6	-1.1
仕入価格	17.3	22.5	29.4	9.9

販売価格判断D. I. は11.6と、前期比7.5ポイント上昇した。仕入価格判断D. I. は29.4と、前期比6.9ポイント上昇した。販売価格を業種別にみると製造・卸売・小売・サービス業で上昇し、建設業は下降した。仕入価格では、製造・卸売・小売・サービス業で上昇、建設業は下降した。前年比で見ると、販売価格は(前年4.0)7.6ポイント上昇、仕入価格は(前年24.2)5.2ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-8.1	-2.3	-3.4	-8.0
人手状況	-16.7	-22.0	-19.6	-12.1

残業時間判断D. I. は $\Delta 3.4$ と、前期比1.1ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断D. I. は $\Delta 19.6$ と、前期比2.4ポイント上昇し、人手不足感が若干弱まった。

□ 設備投資の動き

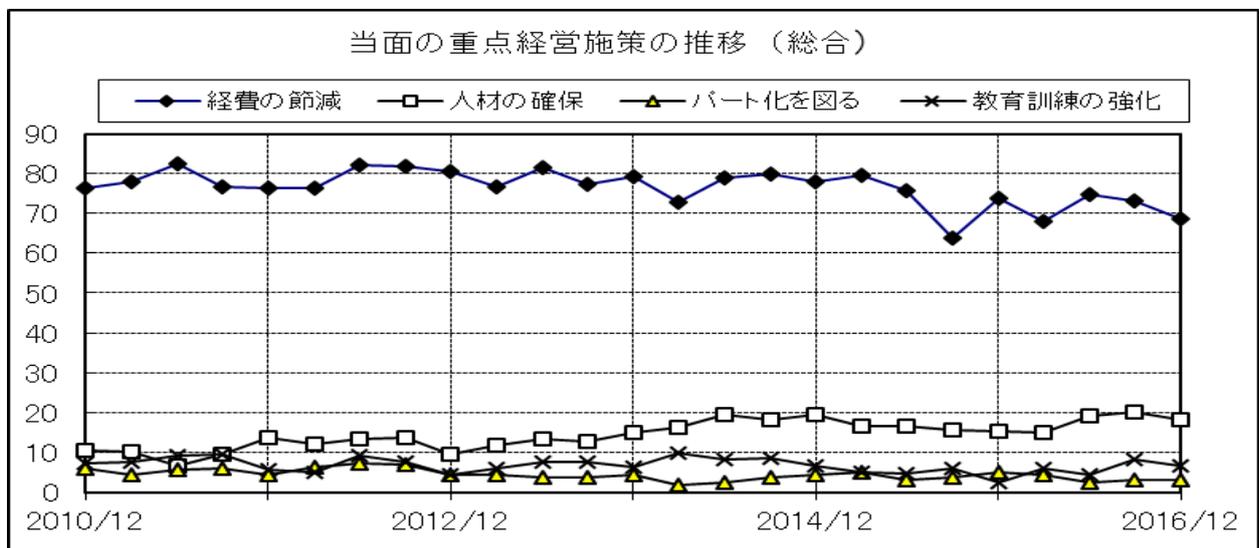
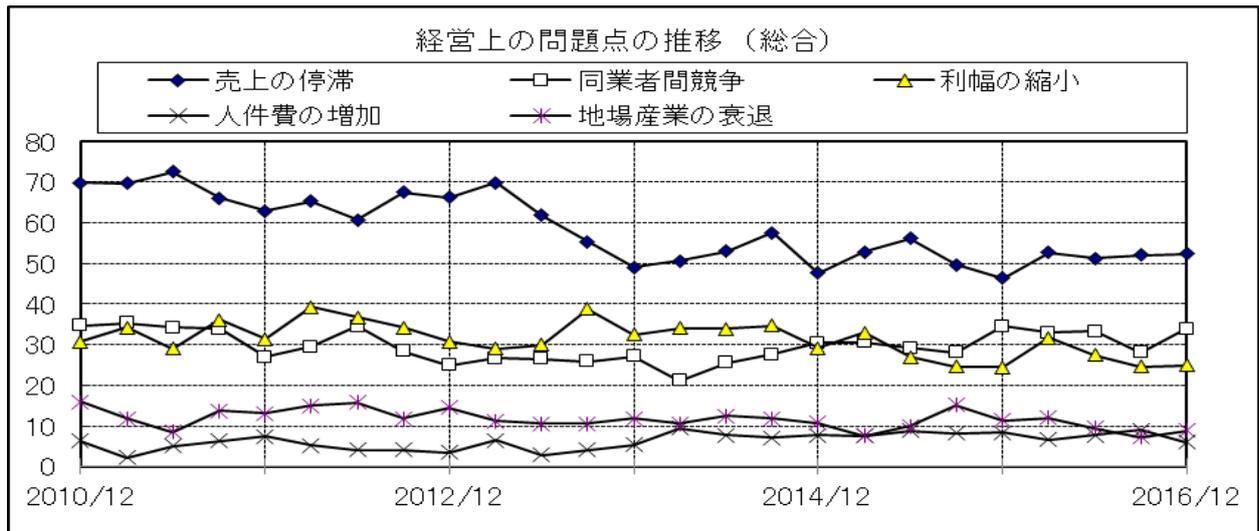
設備投資の充足感を示すD. I. は△13.3と、前期比1.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は12.7%と、前期比1.8ポイント下降、設備投資は、前期25社に対し、22社の実施となった。来期の設備投資は、17社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が52.4%で最も多く、次に「同業者との競合」33.9%、「利幅の縮小」25.0%、「人手不足」15.5%、「天候不順」13.1%、「地場産業の衰退」8.9%、「人件費の増加」6.0%、と続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」が68.5%で突出している。次に「人材の確保」18.2%、「教育訓練を強化」が6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△32.9と、今期比13.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△35.3と、今期比30.7ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△34.1と、今期比24.3ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△1.1と、今期比12.7ポイントの下降を見通している。

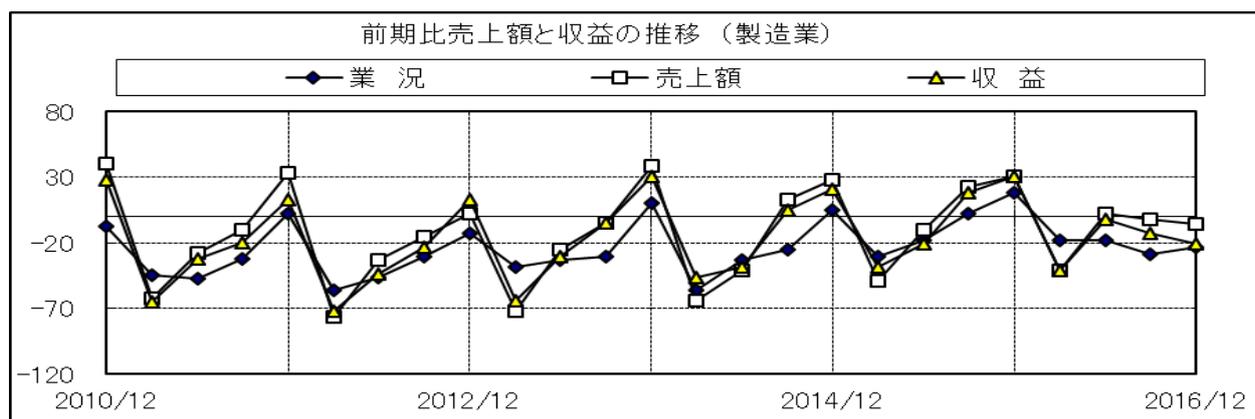
予想仕入価格判断D. I. は9.9と、今期比19.5ポイントの下降を見通している。

製造業 38企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-17.9	-29.0	-23.8	-28.9
売上額	2.5	-2.6	-5.3	-36.8
収 益	-2.5	-13.1	-21.0	-26.3

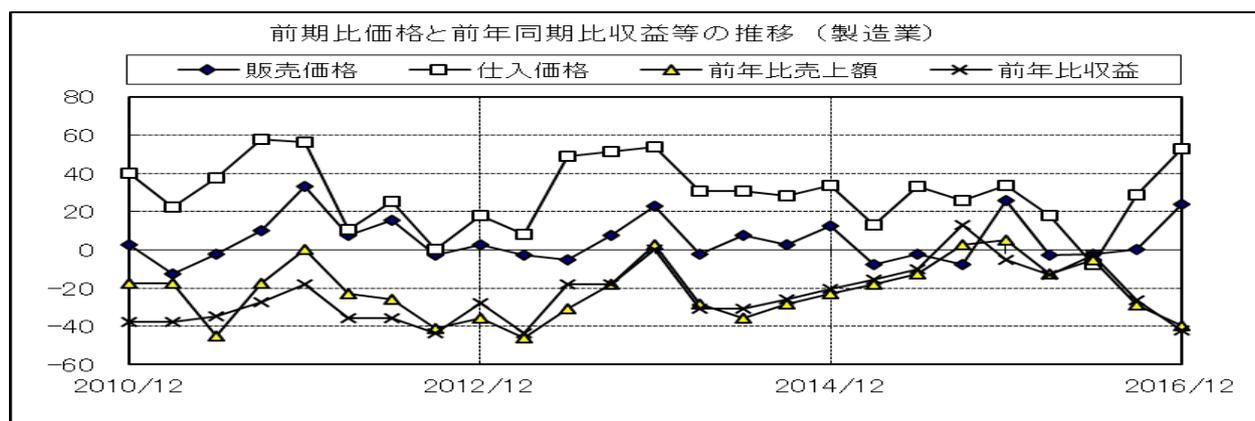
今期の業況判断 D. I. は△23.8 と前期比 5.2 ポイント上昇した。地区別の D. I. は、高い順に浦河、様似、広尾、えりも、三石と続き、静内が最も低い水準となった。前年比 (18.0) では 41.8 ポイント下降した。売上額判断 D. I. (前年 30.8) は 36.1 ポイント、収益判断 D. I. (前年 30.8) では 51.8 ポイントそれぞれ下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	-2.5	0.0	23.7	0.1
仕入価格	-7.6	28.9	52.7	7.9

販売価格判断 D. I. は 23.7 と、前期比 23.7 ポイント上昇、前年 (25.7) 比では 2.0 ポイントの下降となった。仕入価格判断 D. I. は 52.7 と、前期比 23.8 ポイント上昇、前年 (33.4) 比では 19.3 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-7.7	-15.8	-2.7	-2.5
人手状況	-15.4	-15.8	-26.4	-7.9

残業時間判断 D. I. は△2.7 と、前期比 13.1 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△26.4 と前期比 10.6 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

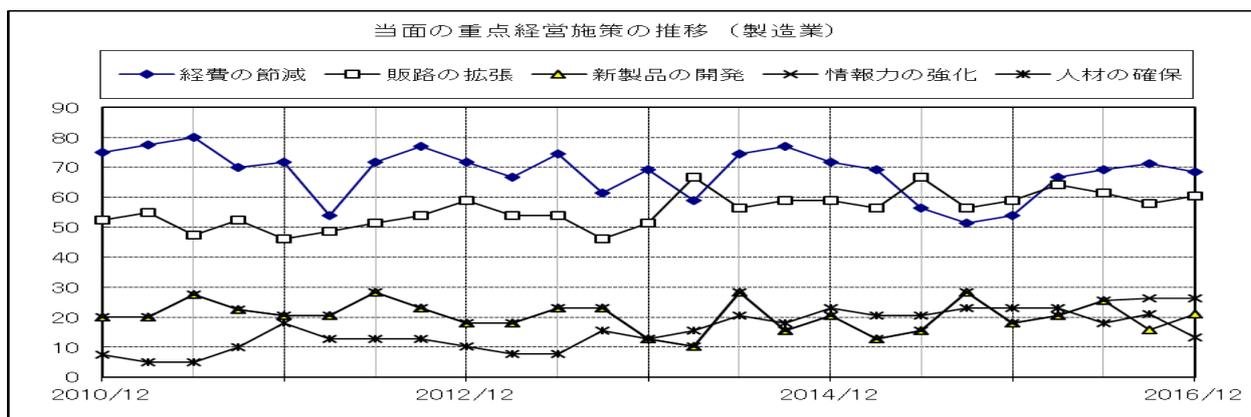
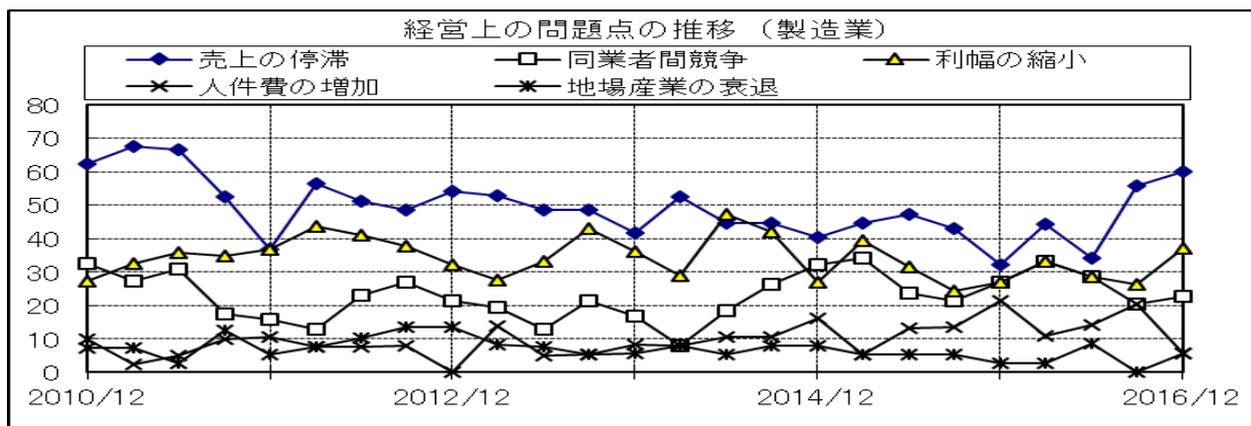
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 21.1$ と、前期比7.9ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は15.8と、前期比10.5ポイント下降、設備投資は、前期10社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」60.0%、「原材料高」45.7%、「利幅の縮小」37.1%、次に「同業者との競合」22.9%、「天候の不順」17.1%、「人手不足」・「工場機械の老朽化」が同率の14.3%と続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」68.4%、「販路を広げる」60.5%、「情報力を強化する」26.3%、「新製品の開発」21.1%、「人材の確保」13.2%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 28.9$ と、今期比5.1ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 36.8$ と、今期比31.5ポイントの下降を見通している。

予想収益D. I. は $\Delta 26.3$ と、今期比5.3ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は0.1と、今期比23.6ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は7.9と、今期比44.8ポイントの下降を見通している。